



☆「のぶすま」は、高尾山頂にある高尾ビジターセンターにて配布しております。
 ☆ご希望の方はビジターセンター窓口までお越しください☆

秋のイベント情報

☆『夜の高尾山とサル園ツアー』☆

野生動物のフィールドサイン（食べ痕や糞など）を観察したり、サル園におじゃまして、サルの意外な生態について、楽しいお話を聞いたりします。

日が沈んだらムササビなどの野生動物を探してみましょ。帰りのケーブルカーからも、動物の姿が見えるかも！昼間とは違う高尾山が体験できるかもしれません！

実施日時：平成19年12月1日(土) 14:30～18:30
 対象：小学校3年生以上(小学生は保護者同伴)
 定員：30名(応募者多数の場合は抽選)
 参加費：中学生以上730円、小学生以下550円
 (保険料・サル園入館料・資料代として、ケーブル代は各自ご負担下さい。)
 切：平成19年11月19日(月)当日消印有効

◆イベント詳細・申込み方法◆

ビジターセンターのホームページからご覧いただけます。↓
<http://www2.ocn.ne.jp/~takao-vc/>



自然教室

イベント報告 平成19年7月21日(土)

『高尾山ナイトウォーク』



毎年恒例の「高尾山ナイトウォーク」。日没とともに山頂を出発。夕闇の林道を自分の目だけを頼りに歩きました。

薬王院ではムササビ観察。すみ家から顔をのぞかせるムササビが飛び立つのを待ち受けました。ムササビのお話を聞いた後は昆虫探し。昼間とは違う夜の昆虫たちの姿を見ることができました。

次号予告 季刊「のぶすま」2008冬号 Vol.13

2008年1月4日発行予定
 季節のトピックス-表紙-
 4号路研究路自然情報マップ
 研究路クイズ④
 高尾山今昔その④

研究路クイズの答え:③

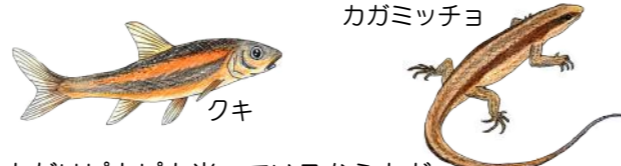


解説員のひとりごと

八王子の動植物の方言

ガイドウォークをしていると、年配の方から植物などで、なつかしい呼び名が聞かれることがあります。

私が子供の頃は、満足な図鑑もなく、動植物の名前は、親や知り合いの大人、ガキ大将の兄ちゃんあたりから聞かされることが多く、自然と地元(八王子)の方言で呼ぶことも多かったのです。



トカゲはピカピカ光っているからカガミツチョ、イヌタデはアカマンマと呼ばれ、女の子達のおままごとに使われていました。この他にもウグイはホンバヤまたはクキ、ジグモはハラキリカンピョウ、アゲハチョウはカマクラチョウと呼ばれ、子供の頃のよい遊び相手でした。

今は仕事柄、動植物の名前は標準和名(図鑑に載っている名前)で呼ぶようにしていますが、方言名も捨てがたいと思っています。今日この頃です。



高尾ビジターセンターのご案内

秋の見どころ遊びどころ満載 **無料プログラム**
 高尾の自然について「スライドショー」(約15分)
 平日 11:00～ 14:30～
 休日 10:30～ 11:30～ 14:30～
 解説員と一緒に歩く「ガイドウォーク」(約50分)
 毎日 13:00～
 ☆団体でのプログラム利用は事前にご相談下さい。

⊗ 通行止めのお知らせ ⊗

高尾林道、大平林道、学習の歩道周辺と小下沢林道周辺の道が2008年2月末日まで通行できません。ご注意ください。詳しくは東京神奈川森林管理署(TEL 050-3160-6010)または高尾ビジターセンターHPまで。

編集後記

実りの季節の到来です。去年は木の実全般が不作。一昨年は大豊作。さて今年は何? M.B
 マーキングしたアサギマダラがどこかで再確認されたらいいなあ C.A

季刊 高尾ビジターセンターニュースレター「のぶすま」
 2007年秋号Vol.12 2007年10月1日発行

発行者

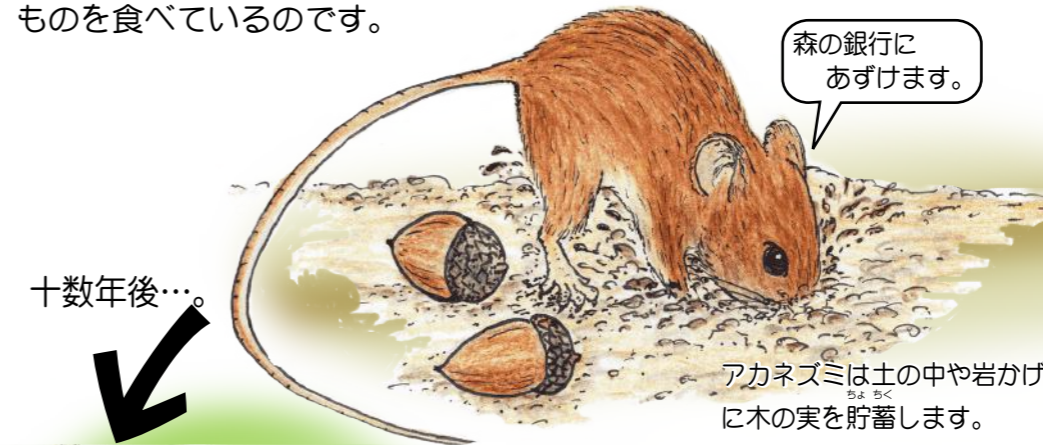
東京都高尾ビジターセンター 自然解説員
 〒193-0844 東京都八王子市高尾町2176
 電話 042-664-7872 FAX 042-662-9926
 ホームページ <http://www2.ocn.ne.jp/~takao-vc/>

購読の方法

80円切手と、封筒(※宛先に送付先の郵便番号・住所・氏名を必ず記載してください。)を送付希望分同封し、上記ビジターセンターまでご郵送下さい。

動物たちの蓄えは?

秋は実りの季節。リスやネズミは冬に備え、好物のドングリなどをコツコツ貯める堅実派の動物です。一方、木の実を貯めずに食べるだけの動物も。冬は大丈夫?心配ご無用!貯蓄ゼロの動物は、冬でも手に入るものを食べているのです。



十数年後…



貯蓄したまま食べなかった木の実からは芽が出て育ち、子孫へのプレゼントになることも。

ムササビは貯蓄ゼロ。でも木の実以外にも葉っぱや木の芽などを食べています。

担当:

季刊 高尾ビジターセンターニュースレター
 のぶすま

2007年秋号 Vol.12

「のぶすま」とは、ムササビの古い呼び名です。高尾山に住む人気者のムササビにあやかって「のぶすま」とつけました。

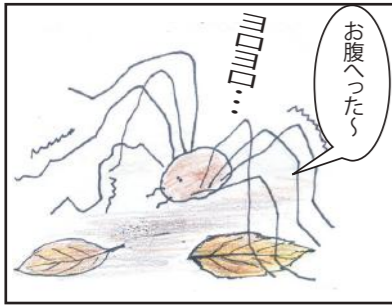
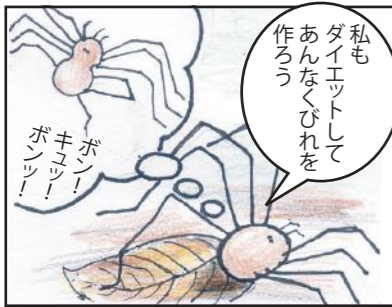
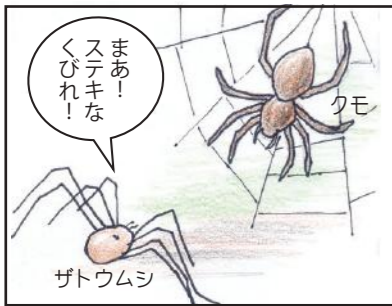
ちょっと登山情報

	日の出時刻	日没時刻	平均気温
10月1日	5:35	17:26	16.5℃
10月15日	5:46	17:07	
11月1日	6:02	16:47	10.9℃
11月15日	6:16	16:35	
12月1日	6:31	16:28	5.8℃
12月15日	6:42	16:29	

2008年2月末日まで高尾林道、大平林道周辺と小下沢林道周辺の道が通行止めになります。10月は、夏に引き続きハチの被害が多い時期です。11月は紅葉狩りの登山客でにぎわいます。土日・祝祭日は大変混み合います。トイレは早めに行くようにしましょう。12月になると、日没時刻が早くなり、ケーブルカーの運行時刻も短縮されます。日帰りでもライトを携帯すると、いざという時に役立ちます。※記載した日の出・日没時刻は東京での時刻に、平均気温は八王子市の気温になります。高尾山頂での気温はこの平均気温より3℃ほど低くなります。

高尾山 其の参
4コマ漫画

ザトウムシとクモ
作・画：ぼん



10・11・12月 ビジターセンター発

紅葉台自然情報

秋のお花を見るなら紅葉台がおすすめ！天気がいれば富士山の眺めも最高です。

秋の開花情報

ガンクビソウ、ヤクシソウ、アキノキリンソウ、アズマヤマアザミ、ヤマハッカ、シロヨメナ、ユウガギク、セキヤノアキチョウジ

さあ、頼りはあなたの5感



これもシモバシラです！

シモバシラといっても、土の上に出てくるものではありません。この植物の名前がシモバシラ。

冬には枯れた茎の周りに、氷の柱ができます。これが名前の由来とか。

氷の柱の見頃:12月中旬~1月いっぱい(年により変動あり)



WANTED!

ビジターセンターでは昨年からアサギマダラの翅に記号を書いて再び放す「マーキング調査」を実施しています。この調査は、全国的にも行われています。

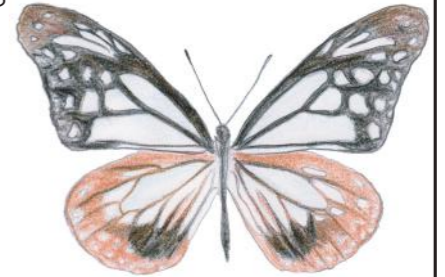
翅に記号のあるアサギマダラを見かけたらビジターセンターにご一報を！写真を撮ったり書いてある記号をメモしていただくと嬉しいです。



渡りをするチョウ「アサギマダラ」

小さな身体で何百kmも飛ぶチョウです。

秋になると南へ移動します。なぜ長距離を移動するのか？どのように海を越えるのか？まだははっきりとは分かっておらず、謎の多いチョウです。



一丁平・小仏城山へ

※紅葉台南側は2008年02月末日まで通行止めです。

富士山を見るなら！

今年の冬に間伐をしたので、富士山の眺めが最高です。特に富士山の真上に夕日が沈む「ダイヤモンド富士」を見るのにはもってこいです。



タカの仲間に見えるかも

「サシバ」や「ハチクマ」というタカの仲間が北から南へ向かう途中に高尾に立ち寄ります。お天気のいい日に空を眺めていると、くると上空気流にのった、タカの仲間に見えるかも。



アザミとノギクの仲間

春と同じく、秋もお花の多い季節です。アザミやノギクの仲間が咲き乱れます。紅葉とあわせて秋のお花もチェックです！



研究路 Q3 紅葉台編

高尾ビジターセンターのマスコットになっている「カケス」。黒くないけど、これでもカラスの仲間なんです。秋になるとカケスは、冬にそなえドングリをたくわえます。

そこで問題！どのようにしてたくさんのドングリを運ぶのでしょうか？

- ①足でわしづかみ
- ②足とお腹の間にはさむ
- ③のどにある袋につめる

答えはウラページの次号予告の下にあるよ！



担当：はやし

高尾山今昔 その③

戦国時代の八王子 - 北条氏と武田氏、関東を巡る争い -

今から約450年ほど前の戦国時代、南関東一帯は北条氏が支配していました。永禄12年(1569年)、北条氏は武田氏によって八王子を侵襲されます。北条氏は廿里で迎え撃ちますが、武田軍の小仏峠からの思わぬ攻撃により敗北します。北条氏は滝山城に退却し、落城寸前になりながらも防衛に成功します。その後、北条氏は滝山城の防衛上の不利から、八王子城を築き、拠点を移します。

現在、多摩森林科学園付近に廿里古戦場の史跡が、桜の名所でもある滝山公園に滝山城跡があります。また、八王子城はその城跡が日本の100名城に選ばれています。



担当：ふじの

担当：あなた